



あのとときの常呂・写真館

VOL 56

(1964年)

昭和39年8月26 - 27日 台風14号による被害

▶この災害を昭和39年9月号の「広報ところ」は、「惨！！台風14号の爪あと 常呂川氾濫で被害額1億3千万」という見出しを付け、次のように綴っています。「台風14号がもたらした豪雨により、常呂川は8月26日より増水を始め、ついに27日早朝より日吉・福山・豊川・共立地区が逐次氾濫し、27日午前中には最高水位に達した。そのため、常呂川堤防敷地内はもちろん、福山地区は一面に濁流化し、田畑の冠水、道路河川の決壊など甚大なる被害を被った。特に堤防が完備されていない福山地区の被害は大きく、せっかくの農作物も一夜で収穫皆無の状態となってしまった」。そして被害の概要を「被害状況は、死者1名、床上床下浸水住宅17戸、田畑冠水682ヘクタール、町道7ヶ所決壊または不通、ノリ養殖事業276万円相当の被害、井戸10ヶ所破損」と伝えています。

*写真は福山地区の冠水の状況





*このページの写真は、共立から福山地区にかけての常呂川の増水と冠水、心配そうに見守る人たちや消防団の姿です。

